



(一社)横浜港湾福利厚生協会
シンボルマーク
(1977年11月制定)
福利厚生(welfare)の頭
文字Wをデザインしました

厚生ニュース

はまかぜ

2026年1月1日

第91号

一般社団法人 横浜港湾福利厚生協会

横浜市中区山下町277-1

☎045(681)6751

<http://www.y-port-kousei.or.jp>

発行責任者 小林 仁

編集責任者 岩崎 広幸

印刷所 神奈川新聞社

〈本紙は再生紙を利用しています〉

迎春



会長

谷本幸平

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は当協会の事業運営につきまして、会員の皆さまをはじめ、関係官公庁、各団体、業界のひとかたならぬご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

二〇二五年も滞りなく運営できましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。

横浜港では、本牧ふ頭A突堤に高機能物流施設をもつロジスティクスパークの整備が進み、コンテナターミナルとの連携強化により、迅速かつ効率的な貨物処理が実現しています。物流ネットワークの最適化やサプライチェーンの信頼性向上に加え、デジタル技術によるトレーサビリティ強化、環境負荷低減など、持続可能な港湾運営が進められています。こうした港の発展を支えるため、当協会は二〇二六年二月、本牧ふ頭A突堤にコンテナ「ポートストア本牧A突堤中央通り店」を新規出店いたします。

二〇二六年も国際物流拠点としての機能強化が進められ、なかでも、本牧ふ頭Dターミナルでは岸壁の改良やヤード拡張の再整備が進められており、超大型コンテナ船の対応とコンテナ取扱機能の強化が図られます。

今後も横浜港の発展に適応しながら、従業員一丸となって各事業の推進に努めて参ります。

最後になりましたが、会員各位、横浜港で働く方々並びに関係者のご発展とご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

横浜港運協会
横浜エゼント会
横浜回漕協会
横浜港湾荷役協会
京濱海運貨物取扱同業会

横浜検数検定部会
横浜港運関連事業協会
全日本ワッチマン業協会関東支部
神奈川倉庫協会
横浜船主会

全横浜港湾労働組合連合会
横浜港湾労働組合連合会
全日本港湾労働組合関東地方横浜支部
横浜港沿岸労働組合連合会
日本検定労働組合横浜地方連合
横浜検数労働組合連合会

「ポトストア本牧A突堤中央通り店」
二〇二六年二月オープン

二〇二六年二月、本牧ふ頭A突堤にコンビニ型店舗「ポトストア本牧A突堤中央通り店」をオープンいたします。

店舗は「本牧ふ頭A突堤中央バス停」前に位置し、港湾で働く皆さまを支える便利な店舗としてスタートします。

横浜港では、高機能な物流サービスを提供できる拠点として、本牧ふ頭A突堤に、総延べ床面積が約二〇万㎡に及ぶロジスティクス拠点の整備を進めております。現在では、多くの事業者が進出しており、本牧ふ頭A突堤で働く方々の利便性向上を図るため、福利厚生施設の設置を求める声が上がってきました。

こうした要望に応えるため、横浜港埠頭株式会社様がロジスティクス拠点内に施設を建設し、当協会がコンビニ型売店を出店することとなりました。

新店舗では、他のポトストアと同様の品ぞろえを予定しております。一般的なコンビニエンスストアで取り扱う食品や飲料、たばこなどのほか、作業現場で必要とされる手袋や作業靴、肌着なども展開し、港で働



イメージ写真

く方々のニーズに応えてまいります。

営業は朝七時からを予定しておりますので、朝のご出勤前や昼のランチタイムなど、お気軽にお立ち寄りください。

さらに、店内にはカウンター席およびテーブル席を備えたイートインスペースを備え、お一人での利用はもちろん、グループでの休憩にも対応できる空間となっています。電子レンジや給湯設備、トイレ、ATMも完備しており、快適にお過ごしいただけます。

駐車場についても、普通自動車十七台分、大型車三台分のスペースを予定しております。

今後も利用者の皆さまの声を反映しながら、商品の多様化やサービスの拡充を進めてまいります。「この店があつてよかった」と思っていたけるよう、スタッフ一同、明るく活気ある店舗づくりを目指してまいります。

正式な開店日などは、後日ホームページでお知らせいたします。

皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

営業時間 平日七時から十九時。土日祝日、年末年始はお休みとさせていただきます。

【お問い合わせ先】

事業部運営課

☎〇四五―六三―五〇二三

ホームページ

<http://jigyou.jp/store/portstop.html>

第六十二回 横浜港関係者合同慰霊祭

二〇二五年十一月十三日(木)

午後二時から、横浜市西区久保山町にある「久保山霊堂」にて、横浜港関係者合同慰霊祭を厳かに執り行いました。

当日は、関東運輸局をはじめ、神奈川労働局、神奈川県、横浜市、関係団体、労働組合等のご協力をいただき、横浜港の発展に貢献されながら事故や病で亡くなられた方々の御霊を慰めるため、横浜港関係者、ご遺族を合わせ、約四百名の方々がご参列くださいました。

第六十二回となる今年度は、私傷病十四柱を合祀し、第一回からの合祀者数は、二千九百九十三柱になりました。

式典は参列者全員による黙祷から始まった後、藤木会長より主催者挨拶がありました。藤木会長は「今回は幸いにも労働災害による事故で亡くなられた方はおりませんでした。今後とも職場環境の改善と、災害防止の啓発により一層の努力をして参りたい」と述べられました。

続いて、関東運輸局、神奈川労働局、神奈川県、横浜市が弔辞を述べられた後、遺族代表からお礼の言葉をいただき、式典の最後には参列者による焼香が行われました。



主催者挨拶

行われました。

この合同慰霊祭の始まりは、昭和三十九年に関東運輸局、神奈川県、横浜市、港湾業界の協力をいただき、「横浜港関係者故者の第一回合同慰霊祭」として開催され、その後毎年秋に執り行われております。

横浜港が国際貿易港とし繁栄しているのは、多くの港湾関係者の尽力によって築かれたものといっても過言ではありません。改めて心から敬意と感謝をいたし、謹んでご冥福をお祈りいたします。

はまかせ診療所

第82回「歯周病」について

本牧港湾診療所 内藤 広太郎先生

歯周病とは、プラーク（歯垢）に含まれる細菌（歯周病菌）によって歯肉に炎症が起り、歯肉や歯を支える骨などが溶けてしまう病気です。「世界で最も蔓延している感染症」としてギネスブックにも認定されており、厚生労働省の調査では、成人の八割以上に歯周病の症状がみられたとの報告もあります。

初期の段階では自覚症状がほとんどなく、進行するにつれて歯茎の腫れや出血、歯のぐらつきといった症状が出てきて、歯を失う最大の原因は歯周病であるとされています。

また、歯周病は口腔内の問題にとどまらず、歯周病菌が血管内に侵入し、血液を介して全身の健康状態に深刻な影響をもたらす原因となっています。

シーパレスリゾートの情報誌「四季通信」の紹介

この度、シーパレスリゾートが発行しております「四季通信」の電子版を当協会のホームページから閲覧することができるようになりました。

現在は、十二月一日～二月二十八日の二〇二五―二〇二六年冬号を掲載しております。

季節ごとの宿泊プランや旬のメニュー、館内イベント、地域との連携企画などを紹介する情報誌となっております。シーパレスリゾートの魅力を幅広く紹介しています。

シーパレスへは、新横浜駅から東海道新幹線「ひかり」で約一時間と移動時間も短く、豊橋駅からは無料の送迎バスが利用できるため駅からホテルまでのアクセスも快適です。



ボウリング大会
休止お知らせ



今年度の全横浜港湾労働組合連合会主催のボウリング大会は、会場となるハマボールの改修工事による休館に伴い、休止となります。